

■北村透谷 詩人，評論家。短い人生の中を思想遍歴，大胆な恋愛観が衝撃を与え，根本的な文学論争後，自殺。

きたむらとうこく

明治維新・・・1868＝ 神奈川県小田原唐人町で，旧藩医の長子の役人の子に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 6歳：父母が弟を連れて東京に移住したため，祖父・継祖母に育てられ，

西南戦争・・・1877＝ 9歳：

明治14年政変1881＝13歳：山梨の私塾に学んだのち，東京数寄屋橋近くに移住し，泰明小学校に転入，

新体詩抄・・・1882＝14歳：自由民権運動が最高潮を迎える中，政治への野心にめざめて卒業，いくつかの塾を経て，

岩倉具視没・・・1883＝15歳：東京専門学校政治科に入学。三多摩地方の民権運動の青年グループと接触をもち，2，3年放浪。

秩父事件・・・1884＝16歳：神奈川の民権家石坂昌孝の長女ミナと知り合う。

内閣発足・・・1885＝17歳：自由党左派の<朝鮮革命計画><大阪事件>の行動隊に参加を求められて，運動から離脱。

帝国大学始・・・1886＝18歳：東京専門学校英語科に再入学するも，父の非職により中退。

国民之友始・・・1887＝19歳：ミナと熱烈な恋愛に陥り，

初の対等条約1888＝20歳：結婚する。ミナとの恋愛は，キリスト教信仰への道を開く。民権運動等との葛藤で著しく内面化。

帝国憲法発布1889＝21歳：\*憲法発布で<大阪事件>関係者も大赦されると，日本最初の長編叙事詩「楚囚之詩」を自費出版，

足尾鉞毒始・・・1891＝23歳：\*世界観的な構想をもった劇詩「蓬莱曲」を書く。

大本教・・・1892＝24歳：\*エッセー「厭世詩家と女性」に見られる大胆な恋愛観は，当時の若い知識人に大きな衝撃を与え，

郡司千島探検1893＝25歳：\*{文学界}創刊。その誌上での「人生に相渉るとは何の謂ぞ」から「内部生命論」にいたる山路愛山との「人生相渉論争」は，日本近代文学の根本にかかわる論争となる。日本平和会機関誌「平和」の編集にも当たるが，

日清戦争始・・・1894＝26歳：\*自殺した。